

傷をキレイに早く治すために

皮膚・排泄ケア認定看護師

と い ひろみ
土居 泰美

皆さんは、けがをした時どのように処置をしていますか？傷は正しい処置を行えば早くキレイに治ります。では、どうしたらいいのでしょうか。

- ①傷とその周囲の皮膚を水道水かシャワーできれいに洗い流す。
- ②傷の部分に適切な水分がある状態を保たせる。

このようなことが大事になってきます。傷にはバイ菌がついている可能性があります。きれいに洗い流してしまうことで、傷が膿む（感染する）のを防ぎます。では、傷に適切な水分がある状態が何故良いのでしょうか。皮膚組織の赤ちゃん細胞は傷の上を移動することで早くきれいに傷を治してくれます。絆創膏を貼っただけの乾燥した状態では、傷の上を動く事ができないので、治るのに時間がかかってしまうのです。きれいにした傷に傷パワーパッドのような創傷被覆材を貼る事で、治りやすい水分状態を保つことができます。ただし、傷まわりの皮膚が赤く熱を持っ
てしまっている場合は、感染しているので傷を覆うと悪化してしまいます。その時は、医療機関を受診して感染の治療を行えば早く治すことができます。



処置でお困りの場合は、労災病院の皮膚・排泄ケア認定看護師にご相談ください。連絡先は、労災病院地域医療連携室直通（TEL0765-22-1354）にお願いします。